



県に陳情と署名を提出する「白保リゾートホテル問題連絡協議会」の新里昌央会長（左）11日、県庁

白保ホテル開発 不許可を求める

県と県議会に市民ら

石垣市白保のリゾートホテル開発計画を巡り、白保地域の住民らによる団体「白保リゾートホテル問題連絡協議会」の新里昌央会長らが6日、開発の不許可を求める陳情を、県と県議会にそれぞれ提出した。建設計画に反対する約1万1

100筆の署名も提出した。

ホテルは、石垣市の事業者「石垣島白保ホテル&リゾート」が計画。年間10万人規模が宿泊するホテルを海岸線の近くに建設する内容で、11月に県に開発許可申請が出された。

開発地域では排水のほとんどを地下浸透させる計画であることから、住民らは周辺地域で水があふれたり、海のサンゴが減少・死滅したりすることを懸念している。陳情で「周辺の生活環境・自然環境に甚大な悪影響を与える」などと訴えた。